

午後 I 試験

問 1

問 1 では、企業グループの子会社の合併に伴う在庫システムの統合を題材に、合併の目的や背景を十分に踏まえた管理体制の監査について出題した。

設問 2 は、実地棚卸の差異数量が適正に修正されないというリスクに対する、職務分離によるコントロールを問うた。職務分離は、重要かつ基本的なコントロールの一つであり、システム監査人としてよく理解してほしい。問題文中に差異数量の修正プロセスについての具体的な職務分離の状況の記述があるにもかかわらず、職務分離とは異なる解答が少なからず見られた。

設問 3 は、全ての差異数量の修正完了を保証するためのコントロールを問うた。個々の処理が適正に行われるコントロールがあるとしても、処理漏れがないことを保証するものではない。

設問 4 は、長期滞留品の抽出漏れというリスクとそれに対するコントロールに関する監査手続を問うた。抽出漏れが起きる原因や抽出漏れを防止するためのコントロールを記述しており、監査手続の記述様式になっていない解答が多く見られた。

問 2

問 2 では、金融機関のシステム開発及び運用を担う子会社を題材に、システム開発における品質管理の適切性の監査について出題した。

設問 2 は、工程完了の基準を満たさないプロジェクトに関する判定の妥当性を確認する監査ポイントを問うた。流用元のシステムの品質評価結果についての解答が多く見られた。レビューの指摘密度が指標値を満たさなかった理由について、品質管理部が、“過去に開発したシステムの設計書を流用できたこと”などの理由の妥当性を審査して承認していることをシステム監査人は確認すべきである、という点を理解してほしい。

設問 3 は、表計算ソフトを使用してレビュー記録表を一覧化して確認しようとした監査手続の目的(1)と、その手続の改善点(2)について問うた。(1)については、概ね正答を導き出していたが、(2)については、レビュー管理の実施内容についての改善点の解答や、全く別の観点での監査手続を追加するという趣旨の解答が散見された。設問に記載されている“監査部が実施した監査手続の改善点”という設問の趣旨をよく理解して解答してほしい。

設問 4 は、システムテスト工程の完了判定基準について、不足している可能性がある項目を監査人として推定できるかどうか問うた。テスト標準の内容として表 1 に示されている項目が工程完了の判定基準に含まれているかを解答すればよい。

問 3

問 3 では、石油精製会社の制御ネットワーク及び制御システムのセキュリティ管理対策を題材にして出題した。

設問 1 は、予備調査において入手した 2 種類の管理規程が、それぞれ個別に策定されていることに着目し、両者間で定めるセキュリティ管理のレベルの不整合や矛盾の可能性に気づいてほしかったが、一方の規程における不備について述べた解答が多く見られた。

設問 3 は、セキュリティパッチ適用前に確認すべき事項(1)と、セキュリティパッチ適用間隔が長いことに対する補完的コントロール(2)について問うた。(1)については、セキュリティパッチ適用後の確認事項に関する解答が少なからず見られた。また、(2)については、インターネットへの接続制限やネットワークの遮断など、制御ネットワーク及び制御システムの正常稼働に影響を与え得る内容の解答が散見された。問題本文中の背景及び設問の趣旨をよく把握した上で解答してほしい。

設問 4 は、“技術的対策が適切に講じられていることを確認するための監査手続”について問うたが、単に“～を確認する”という記述にとどまる解答が多く見られた。監査手続を記述する場合には、監査技術（監査証拠を入手するための手段・方法）も併せて記述する必要がある、監査上のポイントを明確にすることも大切である。また、技術的対策に該当しない対策についての解答も散見された。